

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

教育方針	自律・進取・敬愛を重んじ、豊かな人間性と社会性を養うとともに、個性や能力を生かす教育の充実を目指し、平和な国家社会に貢献できる国際感覚豊かな人間を育成する。	重点目標 平成25年度	社会貢献できる人材の育成 — 感謝から自立と共生 — 1 基本的な生活習慣の確立を通して、自律心の育成に努めます。 2 体験活動の実施と部活動の充実により、豊かな人間性と社会性の育成に努めます。 3 基礎・基本の定着を図るとともに、社会人基礎力の育成に努めます。 4 能力・適性に応じたキャリア教育を推進し、進路実現に努めます。
------	--	----------------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	適切な教育課程の編成	生徒の適性・能力・進路に応じた教育課程を編成する。	A	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はAとなっている。	特に生徒の進路保障について、新教育課程実施後の成果を分析・検討する。
		教育活動全体を通して、基礎・基本の定着を図るとともに、社会人基礎力の育成に努める。	B	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はCとなっている。	体験活動を通して、主体性・課題発見力・発信力などの育成に努める。
	保護者・地域との連携	学校案内、分校通信、ホームページ、生徒会誌「み津ばち」などで教育活動の紹介発信に努める。	A	ホームページは1年を通して全校生徒数の倍程度のアクセス数を記録した。	必要な情報をタイムリーに発信するとともに、見て楽しい要素も付加する。
		PTA活動(総会・研修旅行等)への参加者増を図る。	B	PTA・職員校内作業では、約30名の参加を得て、芝生の校庭の整備を行った。	特に総会の参加者増を図り、より参加しやすい工夫と情報発信を行う。
		地域での奉仕活動を年間8回以上実施する。	A	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はAとなっている。	中島を愛し、元気づけるという意識を持って活動できるよう、取組を工夫する。
学習指導	教科指導の充実	個に応じた指導の工夫・実践により、生徒にわかる喜びと意欲を持たせる。	B	生徒の評価が、この3年間でD→B→Bと上昇している。	少人数学習がより効果を発揮できるように、教科指導の改善に各教科で取り組む。
		全商検定の各級合格率80%以上を目指す。	C	各級合格率が約40%であった。	目標としては80%としているが、上位級を目指すという方針は堅持する。
	家庭学習の充実	学習に対する意欲と態度を育て、個に応じた課題により、家庭学習1日2時間以上を確保する。	B	学習平均が、6月114分、9月123分、11月134分と順調に増えた。	自ら学ぶ態度を育成する観点から、個に応じた課題の工夫と改善を行う。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	基本的な生活習慣の確立を通して、年間出席率95%以上を目指す。	B	2学期までの出席率が、1年93%、2年97%、3年96%であった。	生徒自身による、自律的な基本的な生活習慣の確立を図る。
		あいさつができる、身だしなみが守れる、清掃にまじめに取り組める生徒100%を目指す。	B	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はAとなっている。	教職員の共通理解を深め、対象となる生徒に丁寧な指導を継続的に行う。
		生徒指導に関して、保護者に適切な情報発信を行い、家庭と学校の指導の連携を図る。	B	保護者の評価が、昨年度Cから今年度Bとなっている。	保護者に対して、必要な情報をタイムリーに発信することに努める。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒指導	個人面接の充実	面接を学期ごとに一人2回以上(年間6回以上)行い、生徒の心情を把握し、生徒理解に努める。	C	教員の評価はA、生徒の評価はC、保護者の評価はDとなっている。	特に生活指導に関する個人面接について保護者と意思疎通を図りつつ行う。
	交通安全指導の充実	交通安全指導を通して、交通事故の防止に努める。	B	通学時の自転車事故があった。	事故ゼロを目指し、交通ルール遵守の精神の徹底とマナーの向上に努める。
	教育相談・特別支援教育の充実	教職員の連携と情報の共有を図り、特別なニーズを持つ生徒をはじめ多様な生徒一人一人を適切に支援する。	B	個別の指導計画や教育支援計画の見直しと作成をし、教員間での共通理解を持って指導することができた。	保護者や関係機関との連携を深めながら支援の改善と検討を行う。
進路指導	進路指導委員会の充実	進路指導委員会を全学年、年3回以上実施し、早期に適切な進路指導を行う。	B	計画通り実施できた。	学校推薦就職の手続きについて教員間の共通理解を再確認する。
	進学・就職指導の充実	進学希望者の進学と就職希望者の就職100%を目指す。	B	ほぼ目標を達成することができた。	自己の進路に対し自覚と責任を持った行動ができるよう適切な進路指導を行う。
		進路指導に関して、保護者に適切な情報発信を行い、家庭と学校の指導の連携を図る。	B	保護者の評価が、昨年度Dから今年度Cとなっている。	保護者に対して、必要な情報をタイムリーに発信することに努める。
特別活動	特別活動等の充実	部活動に積極的に取り組む生徒100%を目指す。	A	教員の評価はA、生徒の評価はA、保護者の評価はAとなっている。	生徒の多様なニーズに応え人間的成長につながるように、特色ある部活動を行う。
		学校行事、生徒会活動、部活動等を通して心身を鍛え、よりよい人間関係づくりを行う。	A	教員の評価はA、生徒の評価はA、保護者の評価はAとなっている。	全ての生徒が成功体験を一つずつ積み重ねることができるよう、計画・実施する。
人権・同和教育	人権・同和教育の充実	人権・同和教育ホームルームを充実させる。	B	生徒の評価が、昨年度Cから今年度Bとなっている。	ホームルームで学んだ内容が保護者にも伝わるように、指導案等を工夫する。
		人権委員会活動、講演会、人権標語、人権ポスター等により、人権擁護の意識を高める。	B	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はDとなっている。	保護者に対して、必要な情報をタイムリーに発信することに努める。
保健・安全管理	校内美化・環境整備の推進	適切な清掃配置を行い、巡視指導等により生徒一人一人の意識を高め、環境美化を図る。	A	清掃場所の配置人数は少ないが、1年間学校全体の環境美化が維持された。	巡視指導と作業成果の評価を行い生徒の環境美化に対する意識の高揚を図る。
		生徒と教職員による芝生・校内作業を毎月実施する。	A	生徒、教職員、PTAによって、芝生の校庭の管理がきちんできた。	季節や天候を考慮しながら効率よく実施する。
	健康管理の充実	実践力につながる保健だよりを発行し、健康管理の徹底を図る。	B	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はCとなっている。	保護者に対して、必要な情報をタイムリーに発信することに努める。
	危機管理、安全管理の充実	学校安全に関する研修と点検、防災避難訓練の実施により、安全管理能力の育成に努める。	B	教員の評価はA、生徒の評価はB、保護者の評価はDとなっている。	保護者に対して、必要な情報をタイムリーに発信することに努める。

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。